

横浜子どもスポーツ基金  
パラアスリートを支援する「ドリームプロジェクト」  
ドリームアスリート認定式のお知らせ  
／ 横浜市ゆかりの3選手を認定します ／

横浜子どもスポーツ基金は、2009年横浜トライアスロンの開催をきっかけに創設され、障害のある子どもや、さまざまな事情でスポーツに参加できない子ども達等がスポーツを通じて夢と希望を持って育ち、身近な地域でスポーツ活動に参加できる環境作りを目的に活動しています。

「ドリームプロジェクト」は、全日本選手権等の出場実績がある横浜ゆかりの選手へ、基金から遠征費用など競技資金を支援し、横浜からパラリンピックやデフリンピック等の国際大会に出場できる選手の輩出を目指すプロジェクトです。

2025年は横浜ゆかりの選手3名をドリームアスリートとして認定します。ドリームアスリートがスポーツに向き合い、活躍する姿を紹介し、横浜の子ども達にスポーツのすばらしさを伝えられるよう、今年の認定式は、2025ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会のFES会場である「ハマトラFES」特設ステージで行います。是非、皆さま会場にお越しいただき、ドリームアスリートへの声援をお願いいたします！

● 2025ドリームアスリート（認定選手）



● 日向楓(ひなた かえで)選手(19歳)  
障害:両上肢欠損  
種目(クラス):パラ水泳(S5・SB6・SM5)  
所属(在籍校):中央大学  
横浜市在校歴:市立瀬谷中学校-県立旭高等学校  
主な実績:パリ2024パラリンピック50m  
バタフライ7位入賞



● 山田龍芽(やまだ りゅうが)選手(12歳)  
障害:脊椎損傷  
種目(クラス):パラ水泳(S6・SB5・SM6)  
在籍校:市立上白根北中学校  
横浜市在校歴:市立上白根小学校  
主な実績:2024年度ジャパンパラ水泳競技大会  
100m自由形1位



● 川淵大耀(かわぶち たいよう)選手(16歳)  
障害:左膝関節離断・左大腿形成不全  
種目(クラス):パラ水泳(S9・SB8・SM9)  
在籍校:神奈川県立岸根高等学校  
横浜市在校歴:市立新田小学校-市立新田中学校  
主な実績:パリ2024パラリンピック400m自由形(S9)7位入賞

／ ドリームアスリート・保護者の声 ／

「自分と同じ境遇の子ども達が、勇気を与えられる存在になりたい」  
「支援を受けて、より競技に専念することができています」  
「みなさんからの応援が嬉しいです」



● 横浜子どもスポーツ基金ドリームアスリート認定式

日時／2025年5月18日(日)12:50～13:10

会場／象の鼻パークB(ワールドトライアスロンシリーズ横浜大会 ハマトラFES)

出席者／ドリームアスリート3選手

プレゼンター:横浜市スポーツ協会会長 山口宏(横浜子どもスポーツ基金代表)

ハマトランバサダー:上田藍選手・宇田秀生選手

※取材でのご来場もご自由にお越しください

YOKOHAMA ハマトラFES  
Triathlon FES

Yokohama Triathlon Festival(ハマトラFES)は昨年度延べ56,000人が来場しました。今年はキッズに人気の『パウ・パトロール』ステージショーなどファミリーで楽しめるイベントが多数開催されます。

● 「横浜子どもスポーツ基金」とは  
障害のある子ども達等へ「スポーツ」を通じて、夢と希望を持って育ち、身近な地域でスポーツ活動に参加できる環境作りを行うことを目的に創設されました。この目的を達成するため、横浜で開催されるさまざまなスポーツ活動をきっかけに、資金、寄附金の収集や関連イベントの開催、また各種団体が行う事業、イベント等への支援(寄附・助成等)活動を行い、障害者スポーツ等のより一層の推進を図っています。

【取材・本件に関するお問い合わせ先】

公益財団法人横浜市スポーツ協会スポーツ事業部長 早川信悟 TEL:045-640-0049 / FAX:045-640-0024